

アーナンダ病院（クシナガラ）ニュース

病院建設から16年間、インド現地コーディネイターとして活躍されている大竹紘一さんのレポートを紹介いたします。アーナンダ病院は日本のインド福祉村協会とNDアーナンダ協会とで運営されており、農村民を助け、ともに生きて、ともに学ぶ、日本の charitable 病院です。

インド福祉村協会 e-mail : info@iwvs.jp <http://iwvs.jp>

アーナンダ病院（インド：UP州：KUSHINAGAR）

1998年11月（平成10年）アーナンダ病院開院以来2011年10月で13周年を迎えました。日本の多くの方々のご支援とインド関係者のご協力によりインドの人々に医療、教育を提供できたことをお礼申し上げます。

開院13周年目の2011年（平成23年）度は22,600名の患者が訪れ13年間で27万人の人々に貢献できました。日本のインド福祉村協会の努力と長年の病院職員とインドの人々の信頼が13周年を迎えられた要因と感謝いたしております。



日本とインドのきずな：アーナンダ病院活動

北日本大震災 kushinagar 義援金、募金活動



アーナンダ病院のオールスタッフと私とで2時間、日本国旗と大津波の被害写真と号外新聞を掲げて、「北日本大震災の義援金募集活動」をおこないました、Kushinagar 町の門柱から仏陀の涅槃堂までの店舗約200店、600人位の人々が義援金を出してくれました。

たいへん好評で friendly の日本の皆さんに少しでも役立ってほしいと小さな店主までもコインを入れていただき次々と募金箱に義援金が投入されました。

アーナンダ病院の募金パレードは Very very good parade、Great Plan と握手を求める人もあり感激でした。A-nanda 病院が Japanese Charitable Hospital として地元の人々に愛されていることを改めて深く意識しました、金額の大小でなく「ここところの ふれあい」を感じました。貧しい人々からの支援に心から厚く御礼と感謝をもうしあげます。

翌日ニューウデリーの日本大使館義援金窓口へ振り込みました。アーナンダ病院の DR Gupta と全 staff に感謝です。



アーナンダ病院：グプタ医師の日本研修報告 2011:年10月30日～11月6日

第3回アーナンダHPグプタ医師の日本研修は、ほぼ10年ぶりの一人単独研修となりました、今回は名古屋、広島、豊橋、東京と計画も多く、4か所も宿泊がかわり大変だったとおもいますが、さすが若い青年医師ですね、[Very Good Program, I'm Very Happy] と申しておりました、最新の日本の医療現場の一部を研修できて、帰国後さらにアーナンダの診察に役立つことを希望しております、

保険衛生大学病院 呼吸器内科 岡沢教授 喘息最新治療 レクチャー（医学生同席）
消化器内科 柴田教授 内視鏡センター診断法、カプセル内視鏡、
豊橋メイッククリニック 透析センター、最新透析機器、手術室、X-P室
豊橋睡眠障害治療クリニック 最新睡眠療法 睡眠ポリグラフ 他

東海大学病院 外科学系救命救急学 救命救急センター、チーム医療、ドクターヘリ
名古屋の歓迎会インド料理店アクバルでは7名の方に参加いただき、にぎやかでした、
広島では宮島、厳島神社をフェリーにて訪問世界遺産を見学、翌日平和公園の原爆ドーム、
資料館見学、原爆病院を見ました。東京でも神奈川伊勢原市まで移動しました。



腎透析センター